

文化施設の構想は時間をかけて、
幅広く行っべき

村崎議員

(1) 所信表明及び定例記者会見の内容について

① 市立図書館等の文化施設の充実について

市長は平成22年度から文化施設の構想策定に着手するとしていたが、進捗が遅れている。その要因は何か。また、構想策定の際には横断的なプロジェクトチームを組織し取り組んでもらいたい。また、作業は部課長級とは別のユニットを作ってはどうかと考えている。

文化施設は幅広い年代と男女の観点から議論されるべきであり、若手・中堅クラスにも議論に参加する機会をつくっていた

だきたい。

② ことも夢基金について 大村市の子どもたちが全国大会などに出場した際、その費用などをサポートするために基金を活用できるようにしてはどうか。

(2) 地域安全パトロールについて 青色灯のパトロールカーは町内会長など地域の方の個人所有の自動車が多く、事故が発生した場合、個人の対応になる。これについてどう認識か。また、出張所の公用車を活用するなど、リスク回避策を講じるべきではないか。

し、取り組みたい。現在、立ち上げの前準備として教育委員会が調査を行っているが、検討委員会は、部課長を中心とした横断的な組織にするとともに、若い世代のプロジェクトチームをつくることも必要と考えており、これら

市長 (1) ①文化施設の構想は県立図書館の誘致いかんによって影響を受けるが、県立図書館再整備検討会議の答申が遅れていることから、取り組みが遅れている。この構想は平成24年度の市制施行70周年をにらみ策定したいと考えており、23年度に庁内の検討委員会を設置

市長

(1) ②議員の提案に同

感である。大村市の子どもたちが様々な分野で全国大会などに出場し、優秀な成績を収めている。どこまでを子どもとするか定義しなければならぬが、対応を考えていきたい。

市民生活部長

(2) 事故が発生した場合、その自動車の持ち主の保険で対応しなければならぬという

ことで大変苦慮している問題である。他市の調査をしたが、全く同じような状態で苦慮しているということであった。青パト運転時の保険を別途契約するという方法も考えたが、特別な条件下での契約となると大変大きな金額になるということで、これも難しいという状況である。

市長

(2) 使命感を持って活動していらっしゃる方々に対し、どの程度市が関与すべきかという難しい問題がある。出張所の再任用の職員の活用も含めてこの問題をどう解決していくか検討を始めたと思う。

借りやすい生活資金貸付制度の導入を
大村の若者は苦しんでいないか

神近議員

(1) 福祉のまち日本一 ① 国も推奨している預託による貸付制度を創設し、生活困窮者の経済的

生活困窮者の経済的支援に踏み出すべき。

② 障がい者スポーツの支援策として、民間施設の利用も助成対象とすべき。

(2) 若者支援策 経済不況下にあつて苦しんでいる若者が多い。ハローワーク任せにせず、若者の置かれた状況を早急に把握し、対策を講じるべき。

貧困を原因に起こる犯罪など、社会の危機的な状況に対して大変胸を痛めている。行政がこれらの対策に努力しなければならぬということには十分承知しているが、これには準備がある。内部で協議させていただき、次の議会までには方向性を出したいと思っている。

市長

(1) ②大村市の障害者スポーツへの支援状況は各種障害者スポーツ大会開催時の会場の確保や運

市長

(1) ①自殺者の増加や貧困を原因に起こる犯罪など、社会の危機的な状況に対して大変胸を痛めている。行政がこれらの対策に努力しなければならぬということには十分承知しているが、これには準備がある。内部で協議させていただき、次の議会までには方向性を出したいと思っている。

商工観光部長

(2) 今年10月のハローワーク大村管内の状況は、新規求職者が451名、そのうち34歳以下の若者が224名、就職については、新規求人311名に対して182名の就職があり、うち34歳以下が77名となつて

（その他の質問事項）

- ・法テラスの誘致
- ・「協働推進条例」の制定
- ・「地域活性化事業」はモデル事業から開始を

市長

(2) 場合によっては私がハローワークに出向き、可能な範囲で情報をいただけるようお願いする。それが難しいようであれば平成23年度中に庁内で協議し、市独自で何らかの把握方法を検討していく。

